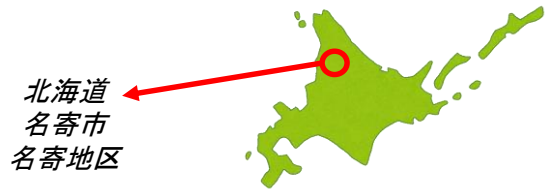


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~30年度:計画作成主体:名寄地域農業再生協議会)(北海道)

## 取組の概要

対象品目 : 小麦・大豆(産地面積764ha(H26))  
 主な取組主体 : 道北なよろ農業協同組合  
 農業者による生産組織(4組合)  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
 基準(H24~26年度) 20,704円/10a  
 目標(H30年度) 27,353円/10a  
 導入施設等 : 整備事業(乾燥調製貯蔵施設)  
 生産支援事業(機械リース導入)



## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

水田輪作・畑輪作上重要な作物である「小麦・大豆」において、市内智恵文地区にあるJA施設では受入に能力的制限があり、搬入作業が遅れることによる収穫遅れ(品質低下)を招いている。

大豆については共同調製体制の確立など、地域で取り組んできた効果を受けて作付面積が急増しており、労働力・作業効率の改善が求められている。

本事業では、労働力不足などに対応しながら生産を持続させるための取組を産地として行っていく。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①乾燥調製体制の整備による作付面積の拡大・品質向上・生産者負担の省力化を図る
- ②小麦の葉色診断実施割合を増加し、肥培管理の改善から収量・品質の向上を図る
- ③大豆品種「とよみづき」の面積を拡大し、品質の向上及び需要者のニーズに応える

## 産地体制

道北なよろ農業協同組合

### 乾燥調製施設の整備

- ・作付拡大、品質向上
- ・作業集約し生産者負担を削減

需要に応じた供給

実需者

需要に応じた供給

### 生産農家

#### 機械リース

- ・機械による省力化と面積拡大
- ・診断に基づく肥培管理の徹底
- ・新品種の作付拡大

品位・単価等の共有

### 普及センター等

- ・診断・分析・技術指導
- ・定期的な栽培技術講習会の開催

指導・助言

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・【小麦】栽培管理技術の徹底や葉色診断などの導入による品質向上と生産量の増加
- ・【大豆】新品種「とよみづき」の導入と栽培管理技術の徹底による収穫量の増加

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①リース支援による初期投資の節減効果
- ②高能力機械による作業効率化
- ③乾燥調製体制整備によるコスト節減効果

### 【事業実施による間接効果】

- ①担い手による作付面積が拡大し、生産量が増加
- ②肥培管理による収量・品質向上

**販売額が  
26,027円/10a増加  
(達成率391%)**

